

埼玉労働山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙

発行：武笠真次

〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階

編集：澤藤俊昭

<http://www.justmystage.com/home/tozans/index.html>

<http://www.justmystage.com/home/tozan/>

10月・11月 合併号 目 次

- 1P) 埼玉勤労者山岳連盟・第1回評議会報告
- 2P) 第12回遭難防止安全教育担当者会議 報告
- 3P) 岩ネット、救助隊役員会、登山学校から
- 4P) 女性委員会活動から
- 5P) 災害ボランティア報告
- 6P) 理事会報告、他



去る九月十一日、大宮の高鼻コミュニティセンターに於いて、埼玉県勤労者山岳連盟第一回評議会が開催されました。

議長に湯浅氏（所沢市）、小島氏（大宮市）を選出、書記に近藤氏（わらび山の会）、松山氏（三郷山の会）を選出。

まず、理事長挨拶では東日本大震災の影響により、第四期総会が六月に順延され、県連活動等の計画が遅れてしまった事また、全国連盟を始めとして埼玉県連としても災害ボランティア活動に積極的に取組んでいると報告があり、議事にはいりました。

埼玉労働山 第一回評議会 報告

個人会員制度 第2次提案について

会員減少に歯止めを！

組織の強化と個人会員制度導入に向けた第2次提案に
埼玉県連としての意見・考え方、課題が示される。

一、総会資料「活動方針 追記 事項について」

武笠理事長より、下記の

① 埼玉県連の震災支援活動

② 個人会員制度について

の提案がなされ、討議と質疑に入りしました。支援活動報告等もあり、特に意見・質問なし

二、全国連盟「個人会員制度」

2次案の提案と検討

武笠理事長から説明があり、

・ 埼玉県連の実情としては、総会以後具体的な検討はされておらず、全国連盟の2次提案について各会の意見等をこの評議会で見聞したい。

・ 現状では、どの会も会員の高齢化が課題となっており、組織数も571名と停滞。各加盟団体は会の活性化の為に組織拡大の努力をして欲しい。

・ 登山学校の受講生の中から会員の拡大している会もあり。

・ 県連を見ても、若い方が県連の登山学校にも参加して来ており、会員拡大の期待。（09年度：10名、10年度：12名、11年度：9名）

・ 登山学校受講生 平均年齢は30才位になっている。以前は交代だった事を考えれば、県連を活用し、また加盟団体が積極

的に情報を掲載して欲しい。（小松理事）

・ 個人会員制度を作ると専任の担当者が必要になると思うが、当面は〆を充実させて会員拡大を図りたい。

・ 「個人会員制度」2次案、ならび「個人会員制度導入Q&A」について、読んで提案に代える。

別紙 参照



質疑では幾つかの問題提起が出されました。①制度導入での会費の値上げの危惧②個人会員の会山行への参加は③山行管理は誰が④個人会員の所属と組織問題等で、まずは全国連盟で担当者配置し、個人会員の受入体制を整備し、組織化の方向で検討されているようです。

県連としては、総会の意見を踏まえ、また評議会の意見を持つて全国評議会に臨む旨の報告を受けました。（埼玉県連としては当面個人会員制度の導入は見送る方向です。登山時報十一月号 17P 参照）

この個人会員制度については県連としてまだまだ議論が必要で、引き続き加盟団体等での討議をお願いしたい。

ただ、幸いに埼玉としては会員数が五七一名から六一五名と増加しており、新しい会員が増えている加盟団体でのHPの充実、登山学校等での安全登山教育の成果の表れか？と報告がありました。

- ② 関東ブロック自然保護担当者
交流集会 〃埼玉主管〃
期日 10/15～16
場所 秩父長瀬・長瀬荘
- ③ 安全登山講演会
期日 11/27 PM 1:30～
場所 岩槻コミセン
講演 立正大学教授
山地啓司氏
- ④ 全国ハイキング交流集会
期日 9/17～18
場所 伊豆長岡・おとり荘
- ⑤ その他
救助隊役員会、岩搬出技術訓練のお知らせ

最後に、議長・書記を解任して第1回評議会を終えました。

終了後は、恒例により希望者で大宮駅近くの居酒屋で懇親会を開催。夜遅くまで山談議で盛り上がったことはいまでもありません！

以上。



三、県連活動報告

① 埼玉県連の震災支援活動

活動方針ならび報告書等（別紙）から、今後も長期にわたり支援活動を継続していく方向。実際に支援活動された徳重救助隊長、佐藤久子理事の体験報告や関東ブロック女性委員会による支援活動（9/22～25）、そして加盟団体独自の支援取り組みがいくつか予定されている事が紹介されました。



第十二回遭難防止 安全教育担当者会議報告

期日：9月11日(日)

9：30～12：00

場所：高鼻コミセン

出席：14団体 16名

他 県連理事9名大宮(小島)
埜歩歩(石谷)、所沢(湯浅)
峠山の会(宮川)、北本山の会
(千葉)、秩父(小栗)日
和田(甲斐)、(渡辺)、
山遊会(染谷)、上福岡
やまなみ(宮野)、三郷山の会
(八木原、松山)、わらび(伊
藤、近藤)
岩つばめ(井芹)、上里(堰口)

議題

@ヒヤリ・ハットの報告

(大宮労働山 小島)

- ① 藤坂ロックガーデンでの懸垂下降中の事故について
- ② 谷川岳・南稜で雪渓での事故について
- ③ 北アルプス・上の廊下での事故について



@千葉県連の事例報告

(尾手、徳重)

- ① 懸垂下降中、ロープの取り扱いミスで滑落事故寸前に・・・
- ② 落石の危険のある場所での休憩をとってしまった。
- ③ 懸垂下降中、バックアップ用スリングのロックが外れずに宙づり状態に
- ④ ケガをした時の事故一報は早め。

- ⑤ 山岳会の後輩が懸垂下降をしようにとした時、確認したらエイト環がハーネスについていなかった。
- ⑥ 細い径のロープで懸垂下降をした際、制動が効かずスピードが出過ぎて危険を感じた。
- ⑦ リーダーの指示を無視して勝手な行動をして進退極まった。
- ⑧ バスに乗れる見込みがある為、急いで焦り濡れた岩で足を滑らせ転倒。
- ⑨ 話に夢中で指導標を確認せず登山道を降り道迷い。
- ⑩ リーダーを信じて、自分自身十分な事前調査をせず山行した為に痛い目にあった。
- ⑪ 前夜発、クルマで仮眠。登山開始後、脳梗塞の疑いがありヘリコプターで搬送された。
- ⑫ 登山靴の経年劣化で山行中に靴底が全て剥がれた。

@新特別基金について

(徳重)

全国連盟での新特別基金の会議での報告。常識的な判断で申請をお願いしたい。

＊＊遭難防止・安全教育委員会より＊＊

- ・今後の遭難防止・安全教育担当者会議でのヒヤリハット事例報告を募集しています。氏名等の諾名・秘密は守ります。
- ・今年もいよいよ 冬山シーズンが到来します。加盟団体で冬山計画をしている会は、計画書の提出、報告等へご協力をお願いします。

担当 尾手



@前穂吊り尾根での事故に遭遇

(徳重)

山行中に滑落事故に遭遇して救助隊、ヘリコプターでのピックアップ等の一部始終を観察し、その状況を報告してもらう。

@持病者の山行参加について
@最後に

各参加者の感想を聞いて終了。

(担当理事 尾手)

第九回全国救助隊 交流集会 報告

期日 10月1日～10月2日

場所 愛媛県大洲国立青少年交流の家にて

講師 小山徹氏

1日目(10/1)

「登山者の救急医療に対するヘリ搬送の検討」というテーマで長野県松本市の相澤病院で救急医療に活躍されている小山氏の講演が始まりました。

北アルプスでは、遭難事故でのヘリ救助が主流になっている。しかし天候・乱気流の影響を受けやすい事、有視界飛行であるため夜間の救助活動はできない。

遭難事故発生からヘリ救助医療機関着まで2時間以上かかる事を知っておいてください。さらに捜索がくわると困難さが増し、時間は読めなくなります。

転滑落による事故疾患が約50%を占めています。が、最近はその他の外傷疾患が増えているので、原因の検討が必要と思われる。

生命の危機になりやすい、山行中の循環器疾患による発症は10%程度ある。原因となる生活習慣病を予防してゆく事が基本となります。既往症は最低でもチームリーダーに知らせておく事がより安全に繋がるのではないのでしょうか。

その後横山遭難対策部員による、ヘリ救助の登山者としての対応の説明があり。ヘリの特性

として下降気流・乱気流の場所では安定を保てず危険である事、救助現場の風向がわかると活動しやすいなどの報告が有りました。

講演の後、各県連盟より東日本大震災ボランティアの活動として6県連盟より報告がありました。

2日目(10/2)

人工クライミングジムにて、救助技術交換会が実技を行いながらおこなわれた。ロープ強度の確認・フリクションヒッチについての提案・セルフブレイクの適切な取り方が香川県連全国遭難対策部合同でありました。次に大阪府連盟より流動分散時の支店強度の問題提起が出されました。兵庫県連盟によりプルアップのデモンストレーションがあり、終了。全員で昼食、そして帰途に着きました。

最後に、資料集に掲載されている「遭難防止マニュアル」全国遭難対策部よりだされています。このマニュアルを早く各会へ発信し検討いただきたいと思えます。

次回の遭難防止安全教育委員会で討議していきたいと考えています。

救助隊長 徳重博文

*詳細は登山時報 12月号

24～25P 参照

加盟団体の動き 原稿募集中

県連に加盟する各山岳会を順番に紹介しています。会の特徴やユニークな会活動、また最近の会山行記録等 何でも結構です。題字込み 500～1000字以内で、写真2～3枚添付で！ 版下は10P 1行12字 6段組です。 機関紙委員会

2011年

関東ブロック自然保護担当者交流集会 終了！

期日 10月15日(土)～16日(日) 1泊2日
場所 秩父「民宿・長瀬荘」
参加者 28名 宿泊・日帰り参加者込み *埼玉県連 13名
内容 10/15 13:30～ 特別講演 野口 秩父アルペン会員
15:00～ 各県連自然保護活動報告
18:00～ 夕食、交流会、秩父ばやし愛好会実演
10/16 9:00～ 武甲山登山、他 詳細報告は次号で



岩登りネット活動報告

月日… 8月28日（日）
場所… 日和田山グレンデ
参加… 合計9名

今年度の第1回岩登りネットがいよいよスタート。9時にグレンデ集合。参加者が大部分初心者で、講師の水谷・小島さんのビレーにより、午前中は初心者用クライミングを中心に行う。午後はビレーも交代で登攀し、15時に終了。雲行きも怪しくなり飯能にて反省会を行い、20時に解散した。

岩登りネットが無事に終えられ、講師の水谷さん・小島さん、それに参加者のみなさんにお礼を述べるとともにお疲れさまでした！ 次回岩登りネットは10月30日（日）日和田山、12月23日（金）幕岩の予定です。みなさんの参加をお待ちしています！

参加希望者は
岩ネット担当 松本 迄
携帯 090-1810-5404



初めての岩のぼり

所沢ハイキングクラブ
清水 美紀

同クラブのMさんより、明日岩登りの練習においでよ・・・と誘われ、装備も何も無いのに、高麗駅前の集合場所に向き、「ん？ 場違い？」と思いつつも日和田山の岩場へ・・・

日和田山は8月の始めに、登山学校の実施で来て、ロープワークの大切さ、面白さを知った所でもある。頭の中で岩場ってどんな所かな、すぐに登れるのかな、降りるときは？

例会で習った、エイトノットとダブルエイトノットを繰り返してイメージトレーニングしながら、岩場到着。

大きな岩が2つ。女岩・男岩、すでにロープに繋がれ、多くの人たちが練習に打ち込んでいた。人の多さに圧倒されながら、仕度をするように促され、仕度と言われても何の用意もしていない、なにが仕度なのかも分からない。

同じグループの方々の仕度なるものを拝見。ハーネス・ヘルメット・クライミングシューズ、ダブルエイトノットでハーネスにロープを結びテンションで確認。登りだす先輩方。シチュエーションごとの用語・掛け声を覚え、ルートを目で追う。

「うー難しい！」登ることに専念しよう！後はおいおいでいいか。

装備一式を借り装着方法を手取り足取り教えていただき準備完了（格好だけは・・・）

登っていくうち、「ん？ここにカラビナ？」頭に描いていたルートにカラビナは存在しない・・・かなり右に来ている。修正したいが頭の中は真っ白、ただがむしやりに登って降りた。

2度目、少し気持ちに余裕ができた。岩にしがみ付かない、手で登らない。体が左に傾いている左手に体重を掛けて体勢を直す。出来た！

嬉しくて下を見る、見上げているときよりずっと高く感じる。練習だ、失敗しても大丈夫、いろいろ試したい、けど、技術を知らない・・・

昼食後、西面の岩に移動。「わざわざ難しい所を登らなくても、左に階段状の岩があるから、私はそこを登って途中からみんなのルートを登る！」んー、それでは意味がないような。と1人の先輩が頭をひねる。岩登りって、山登りの手段だと思っていたけど、一つの競技なの？奥が深そう。

3回の岩登り体験。全くの初心者を迎い入れて頂き、ハーネス・ヘルメットを何度もはずして貸していただきました。シューズにいたっては借りっぱなし。本当にありがとうございました。また参加したいです。よろしくお願いたします。 説

第4回役員会 報告

議題

- 1 沢搬出訓練のまとめ（机上・7/11）（実技・7/24）
- ・訓練の訓練でなく、より実践的活動を個々が出来るように努力する。
- ・指示者による「ロープ」「機器」の結束等を指示に従い確実に出来るようになる事。
- ・沢登りのレベルアップ・「セルフレスキュー」個々の装備を用い正確に使用する。

救助隊 役員会報告

- ①第4回 9月5日（月）19:30～21:30
於：浦和パルコ9階 参加：10名
- ②第5回 11月7日（月）19:30～21:30
於：浦和パルコ9階 参加：7名

＊訓練内 容は 埼玉 県連 のH（救 助 隊）にも 掲載 されて います。

第5回役員会 報告

議題

- 1 雪上搬出技術訓練（机上 12/6）（実技 12/22）
- 23 予定の調整がつかずやむなく中止となりました。

- 2 関東B深雪搬出合同訓練 交流集会

期日 2月26～27日

群馬県連盟の主管で行われます。詳細は後日連絡致します。

＊「埼玉県救助隊」机上学習日時・2/14（月）19:00～21:30
場所・浦和コミセン・10階
訓練内容等の詳細は後日お知らせ致します。

装備

個人登攀装備一式
共同装備は救助隊にて

@救助隊

岩搬出技術訓練報告

期日 11月13日
場所 藤坂ロックガーデン
参加 13名
＊詳細報告は次号で

@登山学校から！

9月講座「地図の読み方」

机上 9月3日
実技 9月4日

奥多摩高水三山 33名

机上 10月1日
実技 10月2日

奥武蔵日和田山 33名

机上 11月5日
実技 11月6日

赤城鈴ヶ岳 33名

以上、第4回～6回までの登山学校を無事終了。

＊詳細報告は次号で

【第7回講座 総合学習登山】

12月4日（日）
西上州・銚柄山、荒船山

現在、単位参加者を募集中！

参加希望申し込みは

登山学校・事務局、またはHP参加申し込みで！

＊受講生の方へ

感想や登山学校への意見をお寄せ下さい。（尾手）



第3回女性委員会会議報告

期 日 9月11日(日)
時 間 P M 7時半
場 所 北朝霞・ジョナサン
参加者 久保、石谷、金子、
佐藤、松本、広岡、
天野 7名

議題

1、Tシャツ販売集約状況
三郷・新座・埜歩・所沢・
ハイジ・ビスターリ・浦和・
飯能・ハイジ、他

計141枚

未報告の会も多い中、枚数では会員数に対して報告のあった会は積極的に取組まれています。ありがとうございます。
1枚から千円の支援金になります。今後も引き続き継続しますので、申込は全国連盟に、各会注文数の報告は久保まで。

2、支援活動について

①関東女性支援活動

9/23～25の取り組み

参加者9/11現在82名(埼玉は16名)女性委員会として(埼玉責任者松本、佐藤、石谷、広岡が参加)報告は松本理事を中心に参加者からも。
②バス手配の関係から、今回参加出来なかった会員の為、埼

玉だけでバス支援活動をおこなえないか提案。
③今後の支援体制をもう少し具体的にしていいたらどうか。

3、救助講習会について

期 日 3月3日か10日
場 所 狭山いきもの
ふれあいの里センター
時間 9:00～受付
講師 柴山利幸氏
参加費 500円
役割分担等 去年と同じ
4、次の予定

期 日 1月25日(月)
時間 P M 7時半
場 所 北朝霞・ジョナサン
議題 支援活動の報告
3月の講習会打合わせ。
文責 久保



日和田地区



関東ブロック女性災害ボランティアに参加して

期 日 9月23日(金)～25日(日) 夜行2泊3日

三郷山の会 大園 緑(記)

東日本大震災労山女性ボランティア隊として82名で宮城県石巻市に行つて来ました。
天候は前日まで台風15号で、何かと案じていたのが嘘のような穏やかな秋晴れでした。

9月22日(木)

22時 浦和駅西口に集合。

車は東北自動車道を、暗闇の中、連休で多い光と共に【鳴瀬奥松島】を目ざしひたすら走り続けました。それぞれの思いを抱きながら、近づくにつれ必至に外に釘付けされているようでした。 夜明けに道の駅

【上品の郷】に着いて、仮眠

をとり東京からのバス3台と合流、関東勢82名が集結しました。埼玉からは車3台15名(内バス3名乗車)参加しました。
(わらび1名、大宮7名、埜歩1名、所ハイ3名、ビスターリ1名、三郷2名)

9月23日(金)

7時出発。

仙台平野の石巻市、見えている所は片付いているが、あの被害の現実・事態の深刻さを感じながら、牡鹿半島の大原地区仮設住宅へ向かいました。

若者が沢山来ていました。海側の道路に向い、昨日と同じ土砂の撤去作業を9時～15時までしました。

重たい泥をすくう作業は大変ですが数の力とは凄い！また慣れたせい、手際もよく声を掛け合い、流れるように延々と作業移動しました。 風呂で汗を流しセンターに戻り18時より夕食及び仲間と宮城県連との交流会があり楽しい時を過ごしました。

9月25日(日)

5時起床 朝食 8時解散式。

誰もが強い思いで集まった仲間です。 この企画を通じて労山の素晴らしさを感じ、また『会いたい』と思いました。
それから石巻港周辺と小学校裏側に突き出た【日和山】から

ひよりやま

惨状を見て、巨大地震による津波の恐ろしさを肌で感じました。ここでそれぞれが別れ、埼玉車3台は北上川河口にある【大川小学校】へ行き、沢山の幼い子供たちと教職員の無念さを感じ、更なる切実な思いを実感しました。

そして、宮城県連会長さんから『どうぞ来て見て下さい。そして伝えて欲しい。明日は我が身です』との言葉は印象的でした。
最後に、被災地に立ち、活動し、被災者と語り、多くの事を知り学びました。
この機会を与えてくれた労山の皆さんの心意気とパワーに感謝しお礼申し上げます。



宮城県連 岡さん

9月24日(土)

5時 起床 朝食 8時出発。

牡鹿半島の牡鹿公民館(ボランティアセンター)に兵庫・京都組と合流。そこには一般のボランティアが大型バスで何台も集まってくるっており、学生らしき



泥の撤去作業



休憩中



みんなの感想 「宮城のボランティア」

今回の目的はボランティアと交流だといいました。自分の目で惨状を見ることができ、またボランティアに参加できたことは何もしていなかった自分にとって第一歩になったような気がします。また交流することによって意識の確認及び輪の拡がり、次の力になっていくのを感じました。参加できて良かったです。

(所ハイ・森田)

百聞は一見にしかず。あまりの被災地の状況に言葉もありません。今回をスタートに被災地が復興する日まで自分なりに支え続けようと決意を新たにしました。機会を与えてくれた女性委員会に感謝！です。

(所ハイ・吉本)



五点セット 800円
こんなスタイル？！



頑張る参加者

初めて被災地に行きました。街が無くなり、崩れた家屋がぼつんと取り残され、小学校が津波に覆われ、牽句に火災に遭いながら建物は残っても学舎には二度と戻らない。胸がつまり言葉が出ませんでした。一握りの事しか出来ませんでしたが、今回、ボランティアに参加したことで、又、行かなければ、話を聞かなければと強く思いました。(埜歩歩・石谷)



大川小学校

卒業記念の壁絵が残っていた

(涙・・・)

赤いテープの所まで津波が来た。この隣の急坂の林があり、登れば生徒は助かったかも。でも高すぎる、子どもが登れるか等、喧々囂々とみんなで話す。



(写真提供：武笠理事長)

第20回ハイキング全国集会

「伊豆長岡 報告」

日時 9月17日～18日
場所 伊豆長岡・おとり荘
参加 112名(日帰り33名)
埼玉：三郷(2名)、他

9/17 13:00～開会

石川ハイキング委員長より、「ハイキング文化を次代に引き継ぐために、今何をなすべきか」をテーマに基調提起あり。

13:30～特別報告

吉越悦子ウォーキング協議会会長を講師に、「全国で発展するウォーキング協議会の取り組み」と題して特別講演があり、今、全国区に発展させようと取組みを強化し、最新のネットを駆使し、スカルを使用して、遠隔地との会議をスムーズに行っている。交通費削減にもなる」と報告。これからハイキングも難しくなったらウォーキングで自然に触れられるかと希望が見えた。

14:50～分科会

①会員拡大と後継者育成
全国的に高齢化がはつきりしている。新会員を増やすための努力はどのようにしているか



②事故防止 リーダー養成と会員教育

あるクラブは人数も多く、教育にも又会員のランクも明確に決めている全員がリーダーとの考えで参加し、全員に役割を決める。「連れられて行く山行」ではなく「連れていく山行」が出来ようになりリーダーが育つ。

③会運営と楽しい企画の立て方

会の運営の仕方・役割分担は？会員の要求を満たすためにはどのような企画をしているかアンケートを収集：会活動の煩わしさを嫌い、役員の成り手がいない等

④ホームページの作り方と活用

良く見てもらえるホームページの作成ポイント。会員同士のコミュニケーションに役立つ。外部にアピールができ、会員拡大につながる。実際に他の町を見て研究。スカルを使用し、遠隔地との会議をスムーズに行っている。交通費削減にもなる。

9/18

9:00～11:10 分科会

11:15～まとめ・閉会式

12:45～城山・発端丈山

交流ハイイク(約3時間30分)

富士山の景観も素晴らしく楽しい交流山行でした。



発端丈山山頂にて
埼玉からの参加全員



下る途中の海の写真

理事会報告

第6回理事会が10月26日(水)さいたま市民活動センターで13名の出席で行われました。

*全国連盟活動

・全国ハイキング交流集会9/17～18 伊豆・長岡 112名

・関プロ女性委員会大震災支援活動 9/23～25 バス82名

・全国評議会 11/3

*県連全体活動

・関プロ自然交流集会10/15・16 秩父・長瀬荘 28名、武甲山登山

【事務局】カレンダー販売

【財政】連盟費納入ほぼ納入。

前期交通費支払

【機関紙】174号発行遅れ、早急に発行を。

【女性】9/12委員会

・大震災支援活動 埼玉6名

・支援Tシャツ販売に協力を

【ハイキング】10/26委員会

・地図読み講習会 1/8

カルタスホール、講師…村越真

静岡大学教授 パンプ参照

【自然保護】

・関プロ自然保護集会所計報告

・全国自然保護担当者会議

11/19～20 日光

【救助隊】9/5 11/8 役員会

・岩搬出技術 10/24 机上14名、11/13 実技13名、

・全国救助隊交流集会 10/1～2 徳重参加

【登山学校】9/26 10/30 運営委員会、第4回講座「地図の読み方」第6回講座「天気の見方」終了。第7回講座「総合学習登山」12/3～4 予定。

【岩ネットワーク】

・12/23 第3回…幕岩予定

【ブロック活動】

西部…11/13 ブロック会議

・嵐山溪谷交流ハイク 11/20

南部…11/24 ブロック会議

・嵩山交流ハイク 11/13 28名

・裏磐梯スノーシュー2/11～12

中部…10/17 ブロック会議

・地図読み交流 11/20

議題

①全国評議会 11/3

②安全登山講演会

期日 11月27日(日) PM2:00

場所…未定、会費：500円

講師…山地啓司

立正大学教授・運動生理学
テーマ…登山に役立つ運動生

理学について

③東北大震災支援体制について

・女性委員会Tシャツ販売

・加盟団体の取組

新座…10/28～30 11/11～13

④関プロ自然担当者交流集会

⑤総括、会計報告等

⑥その他

・全国自然保護集会11/19～20

日光 佐藤理事 参加

・労山カレンダー販売 未届

事務所

*11月理事会 11月30日

(水) 事務所

*12月理事会 12月14日

(水) パルコ9階で

以上 澤藤

10月～12月の県連活動計画

- 10/ 1 登山学校机上「岩登り講座」
- 10/ 2 登山学校実技「日和田山」
- 10/ 6 三役会議
- 10/15～16 関東自然保護交流集会
- 10/24 救助隊「岩搬出訓練」学習会
- 10/26 第6回理事会 HC委員会
- 10/30 第2回岩ネット
- 10/31 登山学校運営委員会
- 11/ 3 全国評議会
- 11/ 4 三役会議
- 11/ 5～6 登山学校「天気の見方講座」
- 11/ 7 救助隊役員会
- 11/13 救助隊岩搬出訓練、西部会議
南ブロック交流バスハイク
- 11/16 女性東北支援活動反省会
- 11/19～20 全国自然保護交流集会
- 11/20 西ブロック交流バスハイク
中部ブロック地図読み山行
- 11/24 南部会議
- 11/27 安全登山講演会
(岩槻コミセンホール)
- 11/30 第7回理事会 (事務所)
ハイキング委員会 (パルコ)
- 12/ 1 三役会議
- 12/ 3～4 登山学校「総合学習講座」
西上州・鉾柄岳～荒船山
- 12/ 5 救助隊役員会
- 12/14 第8回理事会 (パルコ)
ハイキング委員会
- 12/23 第3回岩ネット…幕岩

【編集後記】

機関紙174号 本来ならば10月発行予定でしたが、私事の都合で編集が遅れてしまい11月の発行となりました。まずはお詫びを申し上げます。

季節はいよいよ冬を迎えていますが、今年の紅葉は少し遅れていて、南部ブロック交流ハイクの嵩山や赤城や榛名山をみる限りではもう1～2週間といった感じでした。西上州に行っても同じで、帰路に立ち寄った妙義・もみじの湯からの妙義の岩壁もいまひとつ！

しかし、ようやく冬型の気圧配置となり、寒さも例年並みに戻り、朝晩には暖房が恋しい季節となり、寒い日には鍋もまたいいもので、山でも家でも鍋に凝りまくり！キムチ鍋によせ鍋、きりたんぽ等と献立を考えるまでもなく、材料だけ変えて後は片付けも楽々！

今、無職で学校生活も資格試験勉強等で忙しくて、時間がいくらあっても足りません！今度の日曜日試験があるも、今日は機関紙印刷中です。だれか助けて下さい！

という訳で、機関紙原稿は出来るだけ校正・編集のないようにお願いします。(澤)

2011年 埼玉労山・安全登山講演会

「山に遊び 山を楽しむための スポーツ科学」

講演… 立正大学教授 山地啓司氏

期 日 11月27日(日)

午後2時～4時30分

(受付 1時30分より)

会 場 岩槻コミュニティセンター

*東武野田線 岩槻駅東口駅前

JR大宮乗換 20分

参加費 500円

募集員 100人 申込順しめ切り！

一次集約 10/25 二次集約 11/18

<申し込み先>埼玉県勤労者山岳連盟

事務局：木村哲也

メール thtu2002@bb.knet.ne.jp

FAX 048-554-3429



講師経歴

S40.3 東京教育大学
体育学部卒業
S48.3 東京大学大学院
博士課程終了

職歴

S48.4 東京大学教育学部助手
S58.8 富山大学教育学部教授
H20.4 立正大学教授

著書

「心拍数の科学」大修館書店、
など多数あり。

◎クラブ単位で申し込み願います。

◎会員以外、一般の方も可、住所、氏名、連絡先など記入して申し込みを！

◎講師は登山者でもあります。毎年、好評の安全登山講演会、楽しく学べる
ことと思います。早めに、申し込みください。